

令和5年度 第3回四日市市立図書館協議会会議要録

1. 日時 令和5年12月5日(火) 午後2時00分～
2. 場所 四日市市立図書館3階会議室
3. 出席者 岡田博子委員、加納光委員、竹内裕子委員、竹下すま子委員
柘植敏生委員、中井孝幸委員、諸岡篤委員(五十音順)
図書館:堀田館長、川崎副館長兼奉仕係長、岡管理係長、生川奉仕係員
4. 欠席者 福永智子委員、樋口雅也委員
5. 傍聴者 1人
6. 議事・報告事項
 - (1) 生川建設株式会社創業 100 周年記念寄附金について
 - (2) 新図書館について ワークショップ 第 4 回以降の報告
 - (3) 新図書館にむけた課題について

(1)生川建設株式会社創業 100 周年記念寄附金について

事務局より、資料1を用いて説明。従来、寄附金は資料費に充ててきたが、非常に高額な寄附であったため、基金と言う形で積み立て複数年にわたって使用することを考えており、現在、議会で諮っているところである。

委員:今回の寄附金で購入したものが、何か可視化される仕組みはあるか。

事務局:紙の本の場合は、見返しに寄付とわかるように表示し、特設コーナーを設ける場合もある。今回は、現図書館の収蔵スペースが限られている状況を先方に伝えたところ、紙の本にこだわらず有意義に使っていただきたいというありがたい言葉をいただいております、10月に開始した電子図書館のコンテンツ充実などに充てることを考えている。立川市では、寄附金により継続的に電子書籍コンテンツを拡充させており、購入したコンテンツのバナーとして企業名や個人名を表示することで、寄附者への敬意を表しているようである。今後、そのような事例を参考にしたいと考える。

(2)新図書館について ワークショップ 第 4 回以降の報告

事務局より、リーフレット(市民ワークショップ NEWS LETTER)を用いて説明。第6回はリーフレットがまだないため、口頭で説明。中学生から 80 代までの参加があり。

委員:子育て世代のワークショップの中で遊具についての話があったが、石川県立図書館では児童書エリアにネット遊具を導入している。図書も配置されているので、本を読んでもよいし、遊具に潜ってもよい。設計者は長年、子どもの研究を行っており、児童館や子育て支

援センター等の設計を多数手がけている人物である。この図書館へは、本を読みに来て人と、遊びに来て人が同時に存在しており、図書館なのになぜ子どもが大声で遊んでいるのか、という意見も多いようだ。図書館利用に慣れていない保護者も多いようで、走り回っている子がいても注意しないという。そこで、オープンしてから1年経過してようやく、走らないで等、4つ程度の禁止ルールを作ったと聞く。

遊具を入れてもいいとは思いますが、音には留意すべきだ。例えば KAPLA という木のおもちゃは、倒した際にガシャーンという音がする。1人なら静かにしていても、グループになると騒ぐ子どもたちもいる。図書館がどういう選択をするかだが、図書館利用者は市民の3割に過ぎないことを考えると来館への敷居は下げざるを得ないこともわかる。遊具を入れるのであれば、静かに読みたい子どものためのエリアも必要。新図書館は積層しているので、音のゾーニングを上手に作れば。

事務局:遊具についてはワークショップでも話し合ってもらった。現在、新設の子育て支援センター等では、ネット遊具やボルダリング等を導入することが主流である。しかし、ワークショップで得られた意見では、子育て支援センターにあるような大きな遊具は不要だが、座る椅子が多少変形するとか、ジャングルジム風にちょっと遊ぶことができればよいという意見があった。海外の図書館事情を知っている参加者からはボードゲーム等の提案もあったため、遊具でなくても数人でプレイできるゲームの設置など、考えてみたい。

委員:市民が3割ほどしか利用していないという話があったが理由は何か。

委員:一般の成人、世帯主にアンケートした結果、3割しか使っていないことが明らかになっている。3割というと少ないようだが、体育館、公民館等を含めた公共施設の中でこの利用割合は非常に高いほうである。日本は施設がありすぎるのかもしれない。日本は学校に図書館があり、全国に設置義務のある公民館には、キッチンが備え付けられているなど、様々な施設が役割分担を行っている。北欧では学校図書館がない。図書館以外の施設がないため、多くの機能を図書館が担っていると思われる。

(3)新図書館にむけた課題について

事務局より、当日資料2を用いて説明

委員:司書の意見として、現在、蔵書計画がない等の課題が認識されている。新しい図書館については、以前、立ち上げの際に、蔵書目標数をかなり高く掲げた。現在から蔵書計画を立てて収集していかないと、ガラガラの図書館になってしまうのでは、という懸念があるがどうか。

事務局:現在、蔵書目標冊数等を検討している。以前の計画である市役所横に建設予定だった時期は、これほど電子書籍が拡充するとは予想されていなかった。当時から、我々の読書環境も変化している。よって、もともと掲げていた冊数でよいか等について検討しており、今後の協議会でお示したいと考えている。

委員:細かいところだが、図書館の蔵書冊数の表について、誤解を招かないように、地域・郷土資料でも、もう一度小計を挿入し、最終合計を入れていただきたい。

事務局:対応する。

委員:今後、書庫の割合等を検討されると思うが、開架に何万冊をあてるか、が大きな問題だと思っている。例えば20万冊の開架はインパクトがあるが、新しい本だけで20万冊となると維持が大変である。以前の計画ではかなり大きな蔵書規模を掲げていたが、現図書館の開架4割、閉架6割という割合は無理があると思う。蔵書規模の見直しをされるということが、普通の開架、公開書庫、閉架という3段階で考え、公開書庫を含めて何万冊を開架にするか検討することが重要と考える。

また、ボランティア団体の意見に関するところで、以前に伺った話で、ボランティアはトイレまでは補助しないため、対面朗読室とトイレの動線をわかりやすく、という意見があったと思う。対面朗読室とトイレの位置関係を想定しておいたほうがよい。

事務局:平成30年の計画では、蔵書冊数は現図書館の倍を目指すということで、80-90万冊を目指すこととなっていた。しかし先ほど申し上げた通り、読書環境が変化したことや、当時の自動車文庫も新図書館に移動させる予定が、今の検討ではそうならないため、蔵書規模は先の検討より、もう少し小さい数字になることを想定している。ただし、点字・録音資料や自動車文庫資料を除いても約40万冊はあるため、新図書館にそれら全て持っていき、その後、図書が増えても耐えられるサイズにしたい。また、本に囲まれたい、低い本棚が欲しいといったご意見があるため、車椅子の方やベビーカーの方でも手に取りやすい書架や、囲まれ感のあるような書架の要求も満たしていきたい。また、少し古いが書庫に置くまでもない図書は公開書庫に置きたい。どの程度の割合にするかは今後検討する。現在の図書館では、本来は開架におきたいが配架する場所がないというケースもあるし、劣化を懸念するため、閉架に資料として保存しておきたいものもある。そのあたりも切り分けて検討していきたい。対面朗読室とトイレまでの動線は考えていなかったもので、今後配慮する。

委員:登録者数について質問したい。貸出券の有効期限が3年であるとのことだが、再登録する人も少ないのか。

事務局:再登録には、本人の来館をお願いしている。小学校の時は親と一緒に来館するが、中高生になると一緒には来館していないケースが多く、再登録されない。有効期限を導入してから、令和4年に3年間の有効期限が一周したため、世代を問わず登録者数が大幅に減っている。

委員:学生は図書館で勉強したい。他の新しい図書館では、座席の予約にカードがないと利用できないケースがある。カードがあれば座席予約システムが使えるとすると、爆発的に登録者数は増えるだろう。

学生は試験前には、朝から夕方まで1日利用する。一方、通常の利用者は30分ほどで席を交代してゆくが、学習席として占領されてしまうと利用ができない。そこで、勉強利用の

際は2時間まで、などの運用を電子化すれば解決されると考えられる。今後運用を考えられる際の参考にしていきたい。

委員:続いて、ボランティア・職員へのヒアリング部分について、ご意見あれば。

委員:ボランティア団体に対して丁寧なヒアリングをしていただいております。計画が具体的になる際には、その都度情報をいただきたい。

事務局:引き続き、折を見て意見をうかがっていく予定である。ご協力をよろしくお願いいたします。

委員:積層するので事務室フロアが複数にわたる可能性もあるかもしれないが、浦安市の元図書館長である常世田先生は、事務フロアは分けるべきではないという意見であった。やはり、作業を行っている職員同士の顔が見えるとよいという。計画上難しいと思うが、職員の方々が固まって作業できるとよい。またスタッフの休憩室をきちんと作るよう要求してほしい。利用者対応等で職員は相当なストレスを感じているはずなので、気持ちが切り替えられるように休憩室を作ることが重要だ。諸室構成の提案などに記載してほしい。

委員:どの職場でも生じているだろうが、フロアが異なると心理的な齟齬が生まれる気がする。

事務局:この意見ヒアリングの後にも職員の意見は継続して聞いている。職員数も今後増加し、かつ2交代、3交代制となっていくと時差出勤の必要性も生じてくるため、時差出勤であっても意見交換できる休憩室等の仕組みは必要だと認識している。荷捌や図書修理のスペースなども確保する必要があるし、これらを各フロアに分散させると効率が悪いいため、ある程度まとめて設置したい。また、別フロアの人と一日会わなかった、そういう事例は生じないようにしたい。

委員:職員の雇用が継続されないため経験や知識が引き継げないという意見がある。そのあたりの配置や雇用に対して考えている方向性はあるか。

事務局:明確な方向性は打ち出せていない。現在の会計年度任用職員の常勤職員は、ほぼ司書である。ただし司書が担当しなくてもよい仕事が多数あり、精査しているところである。また、運営方法も検討中である。現在、40人程度のスタッフがいるが、今後、どれだけ人数が必要か、どこを機械化し、どこの人員を手厚くするかを、開館時間、必要人員等にらみながら検討しているところである。フルタイムの会計年度任用職員の司書以外に、パートタイム常用、スポットで入っている非常用といった方がいる。また、ここにいる職員はたまたま事務方かつ司書の有資格者だが、これは極めて珍しい。今後はリーダー格となる司書や労務管理担当者など様々な職員が必要であると認識している。市の全庁的ルールでは、会計年度任用職員は5年に1度試験を受ける必要があるが、他の会計年度職員と同一の試験問題でよいのか等の課題があり、これらは正直なところ、図書館だけで決定できるものではない。ただし、知識の積み上げ、経験の積み上げは重要だという認識のもと、他部署に検討を持ちかけているところである。結論はまだ先だと考えるが、他の市町村での図書館の新館で人員が2倍3倍となったということも聞くため、どこまでを直営で行うのか等も併せて考えていきたい。

委員：これまでとこれからの積み上げによる職員の経験は、市の財産として位置づけていた
だきたい。どこでも人手不足が言われている。機械化と同時にヒトの重要性もものすごく大
きくなっているため、司書の専門性の継続や、ヒトの部分の環境整備をお願いしたい。

委員：私は図書館の近くで活動しているため、皆が多忙であると認識している。今後の図書
館整備で、司書の担う役割はとて多いと思われる。完成して人数を増やすのではなく、
完成に向けて人員を増やしていただきたい。また市役所の方からのサポートももっといた
だきたい。私からはそのように見えており、とても心配している。

事務局：仕事は莫大に増加している。司書が担うところは大きいですが、今年度より基本設計が
はじまり、市役所において図書館を含めた中心市街地の拠点整備プロジェクトチームが立
ち上がっている。毎週のように会議をしており、図書館チーム、近鉄グループとのやりとりを
担当する政策推進課、建築担当の建築指導課、施設建設の際の営繕工務課、駅前なので
都市計画課などによって会議体を形成している。ただ、図書館のことを知らない人々が図
書館を決めることには違和感もあるため、こちらから、他の図書館の事例を提示するほか、
ワークショップの意見などを共有しながら進めている。正直、人員は増強してほしいが、現
況では事務所に机が入らないほどの過密状態だ。電子図書館の導入など、新図書館で、と
言われていたことを前倒してできることは進めており、業務が一定の時期に集中しない
ようにしている。軌道に乗るためにも業務分散が重要だと思っている。現在は人員の必要
性を根拠づけて進めており、いざというときは協議会の後押しもお願いしたい。

委員：図書に限らない多様な情報源の収集と提供とあるが、図書に限らないという意味はど
ういうことか。電子媒体ということか。

事務局：現在、他の図書館では、図書館という場を使って様々なサービス、例えばビジネス支
援等の取り組みが進んでいる。そこでは地域資料もそうだが、新聞、資料、パンフレット、チ
ラシ類も収集の対象となっている。また、地域にかかわるもので視聴覚資料もある。現在は、
CD、DVD があっても見ることができる設備がないので、活用方法を考えたい。また、四日
市の図書館が収集しないとどこが集めるのか、という資料については収集していきたい。

委員：新しい図書館について大変だなという印象があり、健康に気を付けて頑張っていただ
きたい。電子図書館について、私は小学校に訪問しているが、子どもも保護者も利用して
おり、先生方も導入してすごくよかったという感謝の言葉がある。

事務局：なかなか現場の声が聞こえてこないなので、伺うことができありがたい。

委員：立地面での課題で、どうしても駐車場の話はついて回るだろう。図書館だけで議論して
も仕方がないが、バリアフリー、アクセシビリティといった近づきやすさの観点から、重要だ
と考えるため、様々な場面で検討していただきたい。自家用車での図書館利用者の回転
率は良いと思うが、駐車台数は確保していただきたい。

事務局：まだまだ検討すべき事項が大量にある。引き続き議論いただきたい。

以上